

英語科学習指導案

単元名： 「Let' s tell rule/manners!」 (全2時間扱い中 第2時)	授業日時 2021年9月2日(木)第1校時 授業学級 2年D組 授業会場 2年D組教室 授業者 指導者
--	--

1 単元名 「Let' s tell rule/manners!」

2 単元の見積

ア【知識及び技能】

[知識] have to や must の特徴やきまりに関する事項を理解している。

[技能] have to や must を活用して、日本で過ごすためのルールについてまとまりのある内容を話す技能を身に付けている。

イ【思考力・判断力・表現力等】

日本で過ごすためのルールをアメリカ人の留学生ジャックに伝えるために、have to や must を用いてまとまりのある内容を話している。

ウ【学びに向かう人間性】

日本で過ごすためのルールをアメリカ人の留学生ジャックに伝えるために、have to や must を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。

3 単元展開

学習活動	時間
<p>■アメリカ人の留学生ジャックに自分の家のルールを have to や must を用いて簡単なスピーチをする。</p> <p>①have to 及び must の用法を理解する。</p> <p>②ジャックの人物像とジャックの家での生活の様子をもとに、ジャックに伝えたい自分の家のルールをブレインストーミングで構想する。</p> <p>③ブレインストーミングをもとに自分の家のルールについてグループで簡単なスピーチをする。</p> <p>④ジャックに伝えたい日本でのルールをブレインストーミングで構想する。</p>	1
<p>■ジャックに伝えたいルールについて have to や must を用いてグループで簡単なスピーチをする。</p> <p>①スピーチをする際に留意すべきことについて理解する。</p> <p>②同じ場面のグループで意見を伝え合う。</p> <p>③別グループ及び全体でジャックに伝えたいルールと理由を発表をする。</p>	1

4 本時の主眼

アメリカでのジャックの生活の様子を知った子どもたちが、彼が日本や附属中、日本の家で過ごすために必要なルールを伝える場面で、伝えたいルールについて簡単なスピーチをすることを通して、have to や must を用いたまとまりのある内容を話すことができる。

5 本時の位置

全2時間中第2時

〈前時〉アメリカ人の留学生ジャックに自分の家のルールを have to や must を用いて簡単なスピーチをする。

6 指導上の留意点

- ・活動内容を理解していない生徒には適宜机間指導を行う。

7 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	【Today's Goal】アメリカ人の留学生ジャックに日本で過ごすためのルールを理由と共にわかりやすく伝えよう。			5
	1. 理由と共に伝える大切さを知る。	「理由があると相手にわかりやすいんだな。」 「相手に伝えるためにはジェスチャーも大切だと思うな。」	「What rules do you want to tell?」 「Why do you want to tell?」 ・理由を伝える大切さをペアで考えるよう促す。	
展開	2. 伝えたいルールと理由をグループで構想する。	「マスクをつけるというルールにはコロナウイルス感染の予防というのが理由だな。」 「この単語は英語でどう言えばいいのだろうか。」	・机間指導ではルールに必要な理由などをメモに含むよう促す。【ワークシート】 ・3つ以上ルールを構想するよう伝える。	10
	3. 自分のルールをグループでスピーチする。	「つくったルールサインを見せながら発表しよう。」 「アイコンタクトを意識しよう。」	・友人をジャックに見立てて発表するよう伝える。 ・1人1分の時間制限を設ける。 ・スピーチでの留意点を述べる。	8
	4. 中間交流をする。	「そんな風にスピーチをすれば相手により伝わるのか。僕もやってみよう。」	・理由を取り上げ、ジャックの思いに寄り添っているかを全体で確認する。	8
	5. 伝えたいルールと理由をグループで共有する。	「さっきよりもわかりやすくスピーチができるようになったぞ。」 「相手に言いたいことが伝わっているのか不安だな。」 「このルールはジャックに伝えたほうがいいと思うな。」	・場面が異なる設定の友人とグループをつくる。 ・1人1分の時間制限を設ける。 ・机間指導では伝える内容に重点を置きながら観察し、適宜語彙や表現について助言する。	7
	6. ルールと理由を全体で共有する。	「ジャックの思いをくみ取ってルールを伝えることができたな。」	・教員は発表者にスピーチの理由に重きを置いたフィードバックを行う。	5
終末	7. 本時の振り返りを行う。	「have to や must を使ってわかりやすくルールを伝えることができたぞ。」	・ジャックにわかりやすくルールを伝えることができたかという視点で振り返るよう伝える。	2

【本時の評価（ワークシート）】

「have to や must を用いてルールについてメモをもとにジャックにまとまりのある内容を伝えることができたか」という視点で自己評価を行う。